

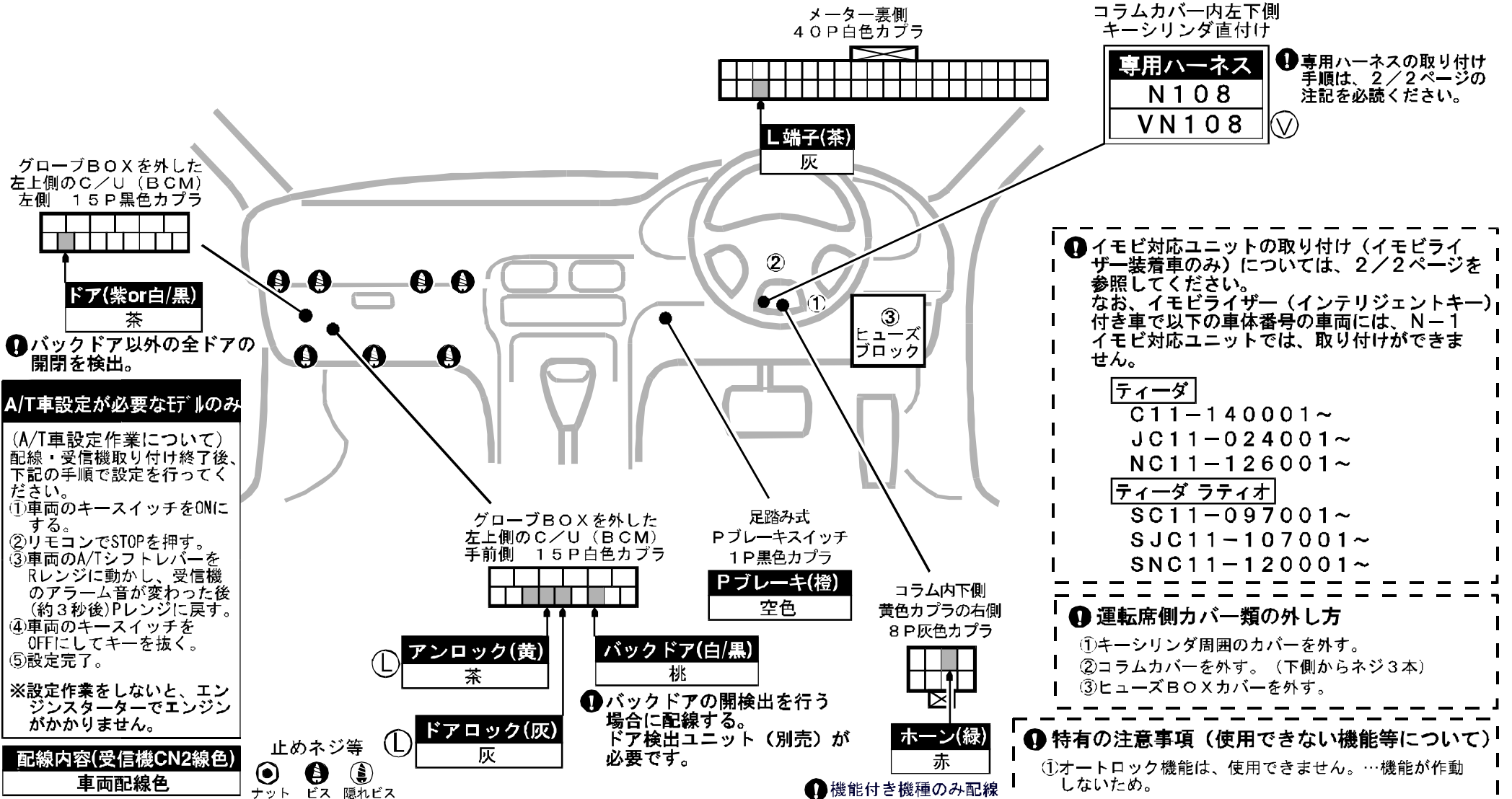
Install FAX Service

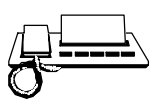
ES-89Light — 配線する信号は ① 表示です。

平成16年10月27日 作成
平成20年 6月23日 更新
BOX No.114301

車両情報

日産 ティーダ 平成16年9月~18年12月 C11系 1/2ページ ES-89Light **Type** N.L.
日産 ティーダ ラティオ 平成16年10月~18年12月 C11系 **Opt.**





Install FAX Service

ES-89Light — 配線する信号は **L** 表示です。

平成16年10月27日 作成
平成20年 6月23日 更新

BOX No.114301

車両情報

日産 ティーダ 平成16年9月~18年12月 C11系 2/2ページ ES-89Light **Type** N.L.
日産 ティーダ ラティオ 平成16年10月~18年12月 C11系 **Opt.**

❶ 注意事項

- ・エンジンイモビライザーシステムが装着されている車両は、エンジンスターターは、イモビライザー対応モデル（受信機に4極コネクタが付いているモデル）のみ取り付けできます。
- ・取り付けの際は、N-1イモビ対応ユニット（EP089）を使用します。
- ・詳細は、イモビ対応ユニットの取付説明書を参照してください。

❶ なお、イモビライザー（インテリジェントキー）付き車で以下の車体番号の車両は、N-1イモビ対応ユニットでは、取り付けができません。

ティーダ

C11-140001~
JC11-024001~
NC11-126001~

ティーダ ラティオ

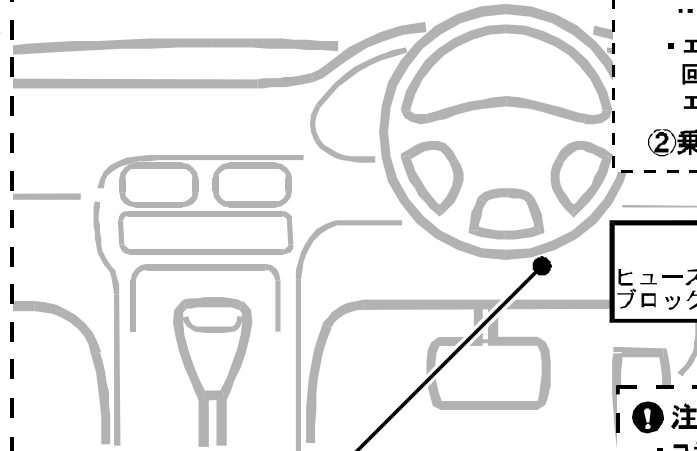
SC11-097001~
SJC11-107001~
SNC11-120001~

❷ 警告

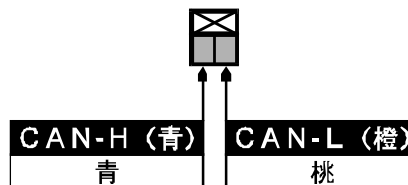
- ・CAN-L、及びCAN-Hを2P白色カプラの配線に接続する際は、確実に間違いの無いように作業を行ってください。
- ・接続を間違えると、車両に重大な影響を及ぼす場合があります。

配線内容(受信機CN2緑色)

車両配線色



車両ハーネスにテーピングされている空きカプラ (2P白色)



❶ イモビ対応ユニットの青色線を接続する。

❶ イモビ対応ユニットの橙色線を接続する。

❶ 使用上の注意事項：エンジンイモビライザー（インテリジェントキー）付き車のみ

※エンジンスターターで始動してアイドリングをした場合は、以下の注意事項を守ってご利用ください。

- ①必ずエンジンを止めてから乗車してください。…エンジンスターターのSTOP操作でエンジンを止める、又はドアタイマー機能を「使用しない」に設定して、ドアを開けたときにエンジンを止める。…以下は、その理由
 - ・エンジンスターターでアイドリング中は、キーのノブがロックされて回らなくなるため。…車両の構造なので、異常ではありません。エンジンを止めると、ノブは回るようになります。
- ②乗車後は、ノブを回してエンジンを始動してください。

❶ 注意…専用ハーネスの取り付け手順

・コラムカバー内のスペースが非常に狭いため、専用ハーネスを取り付ける際は、以下に示した手順にて作業をしてください。手順のとおりに行わない場合、専用ハーネスが収まらずコラムカバーが復元できない（止まらない）ことがあります。

- ①キーシリンダから6Pカプラを外し、コラム上側から右側へのハーネス束を外して、6Pカプラのハーネスをコラム右下側に引き出す。
- ②外した上側から右側へのハーネスは、ビニールテープでテーピング処理して、元通りに固定（復元）する。
- ③コラム下側で、専用ハーネス（6Pカプラ）を割込接続する。
- ④専用ハーネスのケーブル・中継カプラ・リレーは、コラム右下側から奥に引き出し、コラムカバー（下側）が復元できるように処理する。

車種別専用ハーネスについての注意事項

共通追補版

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

平成19年 9月 1日

■ES-89ProLight II (ESL24) を取り付けする場合

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、必ずヒューズ(25A)付きの専用ハーネス(VAS対応品)で取り付けをしてください。



(例)

❗車種別取付資料では、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)を、左記のように記載しています。

VAS対応品の専用ハーネスは、頭文字がVで始まり、(V)の表示をしてあります。

左記の場合、VN108がVAS対応品です。

②初年度登録が2006年(平成18年)6月以前の車両に取り付けする場合、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

■ES-89ProLight II (ESL24) 以外のエンジンスターターを取り付けする場合

※初年度登録年月に関係なく、専用ハーネスはどちらを使用しても問題ありません。

但し、旧型モデル(オートマチック車の認識設定を行わずに取り付けするモデル)については、旧型専用のハーネスを使用する場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

ES-89ProLight IIの盗難発生警報装置に関する注意事項

ES-89ProLight IIは、盗難発生警報装置付きのエンジンスターターです。

このモデルは、平成18年7月より施行された道路運送車両法、盗難発生警報装置技術基準(新保安基準)に適合しており、全国自動車用品工業会(JAAMA)の盗難発生警報装置自主基準(VAS)を取得した製品です。

平成18年7月より運用を開始した新保安基準を遵守するため、取り付け等にあたっては注意が必要です。(以下を確認してください)

①初年度登録が2006年(平成18年)7月以降の車両は、新保安基準に該当します。

❗該当車両への取り付けは、ヒューズ付き専用ハーネス(VAS対応品)の使用が必須となります。

②盗難発生警報装置(機能)を使用する場合、全てのドア(バックドア等も含む)開検知が必要です。

❗該当車両は、全ドアの開検知ができるように、車種別取付資料を参照して取り付けをしてください。車両により、ドア検出ユニット(別売)が必要になります。

③登録証(全国自動車用品工業会自主基準登録証)は、必ずお客様にお渡しください。

❗製品に付属の登録証は、取り付けされた車両の車検実施時に、製品が盗難発生警報装置技術基準に適合したものであることを証明するためのものです。必要事項をご記入の上、必ずお客様にお渡しください。

なお、登録証があっても不適切な取り付け状態が確認された場合、車検時に不合格となることがあります。